

温々 ギャラリー案内 2023年1月～6月〈上半期〉

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856
TEL/FAX 048-686-3620 WEB cafe-nukunuku.com

1月5日(木)～1月15日(日) 大庭明子 「私の好きな景色」	日々のありふれた景色が、以前旅先でかいた「匂い」を想起することがあります。朝の台所、窓の景色、カーブの向こう側、昨日の散歩道……好きな断片を再構成し板に刻み和紙に摺ります。新旧木版画作品を展示します。乞うご高覧。
1月17日(火)～1月29日(日) 井口英一 「炎の流れに遊ぶ」	穴窯焼成時の薪を継ぐ少し前、火色見穴から中を覗くとそれまでの煙交じりのドロドロした炎が次第に浄化されたような美しい炎に変わっていく。火の流れ具合を考えながら作品の窯詰をするのだが、そう思うようには成らない。窯出しの時、がっかりすることが大半なのだが予想もしていない物がでてくるのがあって強い印象が残る。
1月31日(火)～2月12日(日) まつやまさとこ布画展 「天使が通る」	ふと会話が途切れて一瞬しんとする＝フランスのことわざ「天使が通る」何かの気配や余韻。冬の寒空にふと甘い花の香りを受け取るような。そんな「天使が通る」を布と糸で描きます。
2月14日(火)～2月26日(日) 花塚光弘 木工作品展	年々視力は落ちているのに以前より細かいモノを作りたくなる。子供の頃から細かいモノを書いたり組み立てたりするとワクワクしていた。その頃からあまり成長していないのだろうか？自然の色を組み合わせた小さな木の作品たちです。
2月28日(火)～3月12日(日) 工房野良 草木染の衣展	枯れた谷をにぎやかにする桜たち、山のすべてが黄色と紅色に染まる紅葉凍りついた中で輝く北アルプス…。信州の山の暮らして出会った美しいものたちが教えてくれたから作れた「草木染の衣・バック」です。ぜひ見て触って感じてみてください。糸・布など素材も販売します。
3月14日(火)～3月26日(日) しがみさこ 「森のいきもの、春のそら」	動物や植物や土と過ごす時間が、かたちになって手から生まれ出てくれるといいなあと思いつつ粘土に触れる毎日です。
3月28日(火)～4月9日(日) col tempo 土居祥子 「時を纏う」	フィレンツェの伝統工芸の革小物とシンプルな革のバッグたち。先人が生み出し繋げてきた技、使いこんだ革の風合い…積み重ねられてきた時に想いを馳せて。時を纏ったような革のものたちに、そっと触れてみてください。
4月11日(火)～4月23日(日) 前田一郎・まえたこよみ 「春のガラスと絵」	温々のギャラリーに春の日差しのようなガラスと絵を並べます。
4月25日(火)～5月7日(日) 大曾根俊輔 「アニマルパレード」	オオサンショウウオからシロクマまで漆で描かれた動物たち。カフェスペースを泳ぐペンギンや庭を散歩するゾウガメ…温々に集う動物たちに会いに来てください。
5月9日(火)～5月21日(日) 秋谷茂郎 「呼吸感のするもの」	ロクロを回してひき上げ、広げるかたちには、息づかいやリズムを感じます。それは作り手によってちがうもの。私のものは大らかに、ゆったりと感じられるように。若葉まふしい5月、心地良く風をはらみたい。
5月23日(火)～6月4日(日) sol×sol 「多肉植物・サボテンの魅力」	近年人気で形や色の面白さからコレクターの多い多肉植物ですがまだ見たことのない不思議な形や色の種類と器の組み合わせで無限に楽しむことができます。そんな魅力をお伝えできる展示となれば嬉しいです。
6月6日(火)～6月18日(日) 田中俊介 「杜の槌音 2023」	銅・真鍮など金属板を金鋸で叩いて制作しています。今回は、コーヒーサーバーやピッチャーなど「注ぐうつわ」を中心に。制作実演、今回もやります！
6月20日(火)～7月2日(日) 高久敏士 白磁器展	日々、ロクロに向かい暖かさや柔らかさなどを表現出来ればと思いつつ作陶しています。是非、お手に取ってご覧ください。